

歴史書 通信

3

2018 No. 236

無本覚心伝をめぐる虚実 [牛山佳幸]

歴史書新刊ニュース (1・2月)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 (1・2月)

歴史書懇話会会員社 歴史書年間発行一覧



歴史書懇話会

無本覚心伝をめぐる虚実

牛山 佳幸

(信州大学学術研究院教授)

日本人の間に郷土意識といったものが形成されるのはいつ頃のことか。以前には漠然と、農村社会が成熟し、地方文人の顔を持つ豪商・豪農らが、盛んに郷土の歴史を調べて地誌を書くようになる、江戸時代も後半の時期からではないかと思っていたのだが、各種の僧伝を検討してみると、僧侶の社会では、古くから郷土に対する愛着が強かったことがわかってきた。ここでいう郷土への愛着とは、中央で活躍したり立身出世した先輩が、郷土を同じくする後輩の面倒をみたり、引き上げたりするといった、限定的な意味で使用しているのだが、そうした点はとりわけ中世の禅僧たちの間で際立っている。

中世の信濃国からは多くの五山派禅僧が輩出しているが、その筆頭に挙げられるのは鎌倉時代の無本覚心(心地房。1207-98)である。彼は信濃国筑摩郡神林郷(現長野県松本市神林)の生まれで、紀伊国由良荘の地頭葛山景倫の招請で西方寺(後の興国寺)の住持となり、後に臨済宗法燈派の開祖に位置づけられた僧である。亀山上皇から「法燈禪師」号、さらに後醍醐天皇か

ら「法燈円明国師」号を追諡されるが、一般には「法燈国師」の俗称で呼ばれることが多い。

覚心は亀山上皇が禅林寺(後の南禅寺)を開創するに当たって、開山住持に懇望されながらも固辞し、同郷の後輩であった信濃国高井郡出身の東福寺住持無閑玄悟(普門房)を推薦した。一方、玄悟がその後継住持に選んだのは、建長寺住持の無学祖元の会下にあった規庵祖円だが、かれもまた信濃国水内郡の出身であった(両者の生誕地はいずれも現在の長野市内に当たる)。祖円が玄悟に嗣法せずに南禅寺住持に就任したことについては、さすがに玄悟の門弟らの不満が募り、後宇多法皇に訴えるところとなったが、却下されている。さらに、覚心の十三年忌には、その孫弟子でやはり信濃出身とされる慈雲妙意(清泉禅師。1274-1345。越中国泰寺開山)が、規庵祖円と共に法要を執行した。以上の経緯は、当時の禅僧の世界では、法流よりも「同郷」出身者間の繋がりの方が緊密であったことをうかがわせるものだろう。

ところで、この無本覚心だが、その

一方で多くの伝承・伝説に彩られた人物としても知られている。代表的なものとしては、「一遍の参禅伝承」、「虚無僧・尺八（あるいは普化宗）の将来伝承」、「味噌・醤油の製法の将来伝承」などがよく知られている。このなかには古くから、研究者や教団関係者の間で真偽をめぐって議論されてきたものもある。ここでは詳しく検討する余裕はないのだが、私見ではいずれも事実とはみなしがたいものである。こうした伝承がなぜ流布したのかといえ、従来から指摘されているように、覚心が厳格な意味での「禅僧」ではなく、多分に「念仏聖」的な側面を有していたため、それゆえに唱導文芸の主人公とされやすい人物であったことに由来するようである。

そうした唱導する宗教者たちによって各地に定着したとみられる伝説が、法燈国師による寺院の創建や奇瑞に関わるものである。なかでも『古今著聞集』や『沙石集』を典拠とした、番いの鴛鴦むすびどりを射殺した武士の発心譚を、法燈国師の出家事情と結びつけた、いわゆる「鴛鴦沼伝説」はよく知られ、柳田國男もすでに各地の事例を紹介している。一方、唱導に携わったのは高野山を拠点とした、時宗系聖の一派である萱堂聖とみられるのだが、その存在形態については五来重『高野聖』に詳しい。しかし、従来の無本覚心の研究動向をみると、各々の論者が仏教史学、美術史学、民俗学、国文学、地域史な

どの個々の専門領域の枠内に留まっていて、全体を見渡す横断的な視点を欠いているせい、その間隙に埋もれて、未解明のままになっている問題も少なくない。

そのひとつは地方に残された、「法燈国師坐像」と伝承される肖像彫刻の存在である。長野県佐久市安原にある安養寺は、法燈国師開創伝説を有する県内の代表的寺院で、開山堂には「木造法燈国師坐像」を安置する。佐久市内の飲食店では町起こしの一環として、地元産の信州味噌をタレに使用した「安養寺ら〜めん」を提供しているが、これはこの寺の伝承に端を発している。しかし、覚心の創建伝承は事実とは認めがたく、確実な史料で判明するのは、中興開山が覚心の孫弟子にあたる大歇勇健（1329-86）であったという点くらいである。問題の肖像彫刻についても、南北朝期頃の作例である点は認められるものの、顔付きなどは和歌山県興国寺を始め、京都府妙光寺、広島県安国寺などに伝わる彫像とは全く異にしている、別人の像と想定せざるをえない。先年、県の文化財指定に際して、「伝法燈国師坐像」の名称が採用されたのは幸いであった。

同様の事例が福島県岩瀬郡天栄村の山里にも残されている。現在は観音堂が一字あるだけだが、かつては安養寺と呼ばれた大寺で、そのことは周辺一帯の字名が「安養寺」である点からもうかがわれる。そして、この堂内須弥

壇に如意輪観音像とともに安置されるのが、木造の法燈国師坐像とされる肖像彫刻なのである。製作年代は鎌倉から南北朝期と推定され、福島県の文化財に指定されているが、やはりこの像も、現在知られている法燈国師像の真作とは全く異なる容貌をしている。

それにしても、遠く離れた長野県と福島県という、ふたつの県に残された安養寺と伝法燈国師坐像は何を物語るものなのか。その手掛かりとなる伝説が、白河藩儒の広瀬典によって編纂された『白河風土記』に記されている。同書によれば、陸奥国岩瀬郡の長沼村（現福島県須賀川市長沼。長沼地区は天栄村と隣接）に伝わる「鴛鴦沼伝説」の主人公は、発心後に「安養道心」と名乗り、中国に渡って修行し、帰国後は「法燈国師」となった。さらに日本回国の旅に出て、信濃国と大和国に自分の肖像を安置し、帰郷したのちは、故郷にも一寺を建立して安養寺と名付け、この寺にも自ら刻んだ肖像を安置したというのである。肖像が安置されたという信濃、陸奥、大和の三カ国の「安養寺」のうち、前二者が現在の長野県佐久市と福島県天栄村のそれに該当するとみてよいだろう。

上記の伝説に反映されているのは、室町時代頃の萱堂聖による唱導活動の実態である。『紀伊続風土記』所載の「非事専事歴」によれば、高野山の萱堂聖の拠点となっていたのは、無本覚心を開基と伝える安養寺成仏院（現在

の萱堂）で、その門弟が師と同じ法名を名乗ることを許され、その後継者たちも代々「覚心上人」あるいは「安養道心」と称して諸国を遍歴し、慶長15年（1600）に江戸幕府によって禁止されるまで19代続いたとある。こうした点を踏まえると、次のようなことが想定される。

萱堂聖たちは各地で布教活動に携わる中で、自らの拠点と同じ寺号の「安養寺」が存在することに着目し、それを法燈国師ゆかりの寺として顕彰したり、あるいは勧進によって廃寺を復興したような際には、「安養寺」という寺号を付けたのであろう。そのため、それらの寺にたまたま伝来していた別人の肖像彫刻が、いつの間にか法燈国師像と信じられるようになったのではなかろうか、と。

ところで、陸奥（旧岩代地区）と信濃を結ぶ接点はもうひとつある。それは無本覚心の有力な弟子の孤峯覚明（国済国師、三光国師。1271-1361）が会津の出身で、佐久市安養寺の中興開山の大歌勇健は、その覚明の弟子に当たるという事実である。この両地域で唱導活動がとりわけ盛んであったとみられるのは、こうした背景によるものであろう。福島県中西部には、ほかにも安養寺という寺や、鴛鴦沼伝説のある湖沼が点在しているが、そのこととも合点が行くのである。大和国の安養寺がどこに比定できるかという点も興味深い。これは今後の課題としたい。

筆者は目下、無本覚心の虚実を究明すべく、文献史料、美術作品、伝承などについて情報収集を進めているが、その調査の一端を披露した次第である。

〈表紙写真〉無本覚心の生誕地と伝える居館跡にある福応寺（真言宗）。境内周辺には今も土塁跡が残る。唱導用に作成された『紀州由良鷲峰開山法燈円明国師之縁起』には、「母堂本宅」の絵があったことが知られているが、それはこの居館を想定して描かれていたものだろうか。

新刊ニュース

1・2月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般

事典／年表・地図／歴史学・補助学

張慶姫著 池貞姫他訳
北朝鮮の博物館

B5判変形 272頁 7,000円

同成社 [2月刊]

978-4-88621-785-1

北朝鮮各地の博物館を実際に巡り、その所蔵品を鮮明な写真と共に美術史・博物館学的観点から紹介。訳者による朝鮮文化や歴史解説も収録。

国立歴史民俗博物館編
歴史研究と〈総合資料学〉

A5判 200頁 3,200円

吉川弘文館 [2月刊]

978-4-642-03872-0

古文書や絵画資料、刀剣、貨幣などを題材とする、分野を超えた共同研究から得られる多彩な成果が、歴史研究にもたらす可能性とは。

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

上野川勝著
古代中世 山寺の考古学

A5判 412頁 8,600円

岩田書院 [1月刊]

978-4-86602-019-8

北東日本の山岳(山林)寺院の遺跡・遺構を概観し、存続期間や伽藍配置などから、その類型化をはかる。

辻田淳一郎著
同型鏡と倭の五王の時代

A5判 576頁 12,000円

同成社 [2月刊]

978-4-88621-789-9

同型鏡を悉皆調査した著者は、鈕孔製作技術に着目し、その詳細な分析から既往の系統論を再検証。5～6世紀の新たな列島史を描き出す。

小澤毅著
古代宮都と関連遺跡の研究

A5判 336頁 9,000円

吉川弘文館 [2月刊]

978-4-642-04643-5

古代都市と道路・古墳、飛鳥の朝廷と寺院、百済・新羅王京との関係、条里など、多彩な問題を考古資料と文献史料から明快に論じる。

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

国立歴史民俗博物館編
わくわく!探検 れきはく日本の歴史 5

民俗

B5判 86頁 1,000円

吉川弘文館 [2月刊]

978-4-642-06825-3

小中学生が日本の歴史と文化を楽しく学べる新シリーズ。民俗の展示をもとにしたストーリー性重視の構成で、大人も楽しめる!

名古屋市博物館編
豊臣秀吉文書集 四

天正十七年～天正十八年

菊判 344頁 8,000円

吉川弘文館 [1月刊]

978-4-642-01424-3

圧倒的な武力で小田原を平定し、天下統一を遂げた秀吉は、徳川家康を江戸に移封する。天下人として盤石の権力を築くまで、928点を収録。

鷲森浩幸著

天皇と貴族の古代政治史

A 5判 412頁 12,000円 塙書房 [2月刊]

内外階制や侍従を考察し、大伴・阿倍・中臣の三氏を検討、藤原八東・市原王、道鏡や藤原緒嗣等の天平末～仁明天皇期までの政治状況を考察。

978-4-8273-1295-9

米田雄介著

正倉院宝物と東大寺献物帳

A 5判 438頁 10,000円 吉川弘文館 [2月刊]

正倉院宝物の目録『国家珍宝帳』など5通の献物帳を紹介し、多種に及ぶ宝物の性格を捉え直す。現存しない宝物などについても検討。

978-4-642-04644-2

関口裕子著

日本古代女性史の研究

A 5判 348頁 8,500円 塙書房 [1月刊]

古代の女性史研究の重要性を日本の歴史発展の解明と関連づけた著者が女性史研究の意義と課題、古代人の恋と性と家族、女性の地位を考察。

978-4-8273-1292-8

吉江 崇著

日本古代宮廷社会の儀礼と天皇

A 5判 388頁 9,000円 塙書房 [2月刊]

律令制から院政の出現までの天皇を頂点とする宮廷社会の構造的特質と変容過程を儀礼の分析を中心に、政治史・宗教史・都市史等多角的に考察。

978-4-8273-1293-5

東海林亜矢子著

平安時代の后と王権

A 5判 276頁 9,000円 吉川弘文館 [1月刊]

摂関政治の成立・展開に、後の権限はいかに変化したか。立場と役割を解明し、権威が上昇した経緯を分析。社会構造を捉え直す。

978-4-642-04642-8

佐藤 信編

史料・史跡と古代社会

A 5判 566頁 13,000円 吉川弘文館 [2月刊]

古代国家と社会の実態を独自の角度から考察する論集。「古代の史料」「史跡と都城」などをテーマに、最新の論考21編を収める。

978-4-642-04645-9

佐藤 信編

律令制と古代国家

A 5判 512頁 13,000円 吉川弘文館 [2月刊]

律令制と王権の展開を独自の角度から考察する論集。「律令制の成立」「律令法の展開」などをテーマに、最新の論考20編を収める。

978-4-642-04646-6

石井良助著

新版 中世武家不動産訴訟法の研究

A 5判 580頁 12,000円 高志書院 [2月刊]

日本中世の訴訟制度を詳細に解明した研究として名高く、研究者必備の書といわれながら超稀覯本となっていた本書を約80年ぶりに再刊。

978-4-86215-177-3

日本史史料研究会編

将軍・執権・連署

鎌倉幕府権力を考える

四六判 200頁 2,000円 吉川弘文館 [2月刊]

将軍が唯一の首長にもかかわらず、執権・連署を掌る北条氏が権力を握っていく。さまざまな切り口を示し、鎌倉将軍権力の実像を解明。

978-4-642-08331-7

植田真平著

鎌倉府の支配と権力

(歴史科学叢書)

A 5判 376頁 10,000円 校倉書房 [2月刊]

鎌倉府とは何かという問いに答えつつ、その成立と展開を中世後期東国政権の視座から論じ、鎌倉府権力の支配構造、室町幕府との関係も論考。

978-4-7517-4790-2

山家浩樹著

足利尊氏と足利直義

動乱のなかの権威確立 (日本史リブレット人36)

A 5変型 104頁予定 800円 山川出版社 [2月刊予定]

兄弟で室町幕府を築き上げるも親応の擾乱を引き起こした二人。両者の個性や政策を取り上げながら共同統治の安定期に焦点をあてて解説する。

978-4-634-54836-7

黒田基樹編

足利成氏とその時代

(関東足利氏の歴史 5)

A 5判 330頁 3,800円

戎光祥出版 [1月刊]

黒田基樹氏の編による研究論文集シリーズの第5弾。本書では初代古河公方で、享徳の乱の主役の一人となった室町後期の武将・足利成氏の生涯に迫る。
978-4-86403-276-6

谷徹也編

石田三成

(シリーズ・織豊大名の研究 7)

A 5判 404頁 6,500円

戎光祥出版 [1月刊]

戦国・織豊期の研究者として名高い京都大学助教の谷徹也氏が、豊臣政権の奉行として豊臣家を支えた戦国武将・石田三成に関する研究をまとめた再録論文集。
978-4-86403-277-3

五味克夫著

戦国・近世の島津一族と家臣

(戎光祥研究叢書 15)

A 5判 460頁 9,500円

戎光祥出版 [2月刊]

南九州の政治史研究の第一人者による論文集。膨大に残る戦国・近世大名島津氏に関する記録史料を丹念に整理・検討し、中世から近世にかけての一族や家臣らの動向を追う。
978-4-86403-284-1

石井仲夫・重見高博編

三好一族と阿波の城館

(図説 日本の城郭シリーズ 7)

A 5判 320頁 2,600円

戎光祥出版 [2月刊]

徳島と畿内で激戦を繰り広げた戦国三好一族の勢力下 74 城館を、27 名の執筆陣が最新の研究成果に基づいて解説する城郭事典。縄張り図・遺構・現況写真など図版・史料を満載。
978-4-86403-273-5

外岡慎一郎著

「関ヶ原」を読む

戦国武将の手紙

四六判 194頁 2,000円

同成社 [2月刊]

関ヶ原合戦に至る様々な時点・場所で交わされた武将たちの手紙を読み、彼らの思惑と計略、迷いと決断をとらえ、合戦の深層に迫る。
978-4-88621-787-5

黒嶋 敏著

秀吉の武威、信長の武威

天下人はいかに服属を迫るのか（中世から近世へ）

四六判 320頁 1,700円

平凡社 [2月刊]

織田信長と豊臣秀吉は「天下人」としての正当性をどう語っていたのか。大名らに宛てた和睦調停の文書から「武威」を手がかりに詳述する。さらに「惣無事令」への新理解も示す。
978-4-582-47737-5

銭 静怡著

戦国期の村落と領主権力

A 5判 260頁 8,500円

吉川弘文館 [2月刊]

戦国大名と村落との関係はこの時代を解明する重要課題である。双方向の回路の視角から、北条氏の郷村支配などを題材に実態に迫る。
978-4-642-02944-5

北村行遠編

近世の宗教と地域社会

A 5判 412頁 8,900円

岩田書院 [2月刊]

主として江戸を中心とする関東地域の宗教の諸相と、地域社会の経済・文化など、14編を収録する。
978-4-86602-024-2

谷戸佑紀著

近世前期神宮御師の基礎的研究

(近世史研究叢書 48)

A 5判 344頁 7,400円

岩田書院 [2月刊]

江戸幕府や伊勢神宮の動きに注目しつつ、他の宗教者にも目配りする。
978-4-86602-021-1

滝口正哉著

江戸の祭礼と寺社文化

江戸時代史叢書 34

四六判 224頁 2,300円

同成社 [2月刊]

人口 100 万を超える最大級の都市であった江戸。農漁村とは異なる特性を、寺社の社会的・文化的役割に着目することで考察する。
978-4-88621-788-2

藤本仁文著

將軍権力と近世国家

A 5判 358頁 8,500円

塙書房 [1月刊]

徳川将軍が命じる領知宛行、転封、參勤交代、軍役が持つ意味と機能を明らかにし、将軍を中核として形成された日本近世国家の特質を解明。
978-4-8273-1294-2

木村直樹・牧原成征編

十七世紀日本の秩序形成

A 5判 296頁 9,000円 吉川弘文館 [2月刊]

いかにして平和と安定の江戸時代になったか。新秩序の形成と定着の過程を、政治・対外関係などから追究し、十七世紀史を刷新する。

978-4-642-03486-9

長坂良宏著

近世の撰家と朝幕関係

A 5判 272頁 8,000円 吉川弘文館 [2月刊]

幕府の朝廷統制の要とされた撰家。その特質・権限や天皇・幕府などとの関係を解明し、朝廷内部の動向と朝幕交渉を結びつけて追究。

978-4-642-03485-2

西村 玲著

近世仏教論

A 5判 420頁 4,800円 法藏館 [1月刊]

時代や国境といった枠組みを超越した広い視点から、新たな近世仏教の姿を描いた論考16編を取録。今後の近世思想史研究に必備。

978-4-8318-6247-1

菊地明・伊東成郎編

改訂新版 戊辰戦争全史 上巻

四六判 416頁 2,500円 戎光祥出版 [2月刊]

幕末史研究者として活躍する、菊地明氏、伊東成郎氏らがまとめた戊辰戦争の概説書。上巻では、鳥羽・伏見、箱根、南関東、北関東、日光口、飯山、北越、東北の各戦いを詳解。 978-4-86403-282-7

菊地明・伊東成郎編

改訂新版 戊辰戦争全史 下巻

四六判 464頁 2,500円 戎光祥出版 [2月刊]

丹念な考証で戊辰戦争の真相に迫る本シリーズ。下巻では、会津の戦い、北海道の戦いという、戊辰戦争後半のハイライトとなった2つの戦いについて徹底解説する。 978-4-86403-283-4

桐野作人著

龍馬暗殺

(歴史文化ライブラリー462)

四六判 272頁 1,800円 吉川弘文館 [2月刊]

襲撃者の供述を再検討。薩長士や会系勢力の動向から京都政局の対立軸を明らかにする。事件後の政情なども解明し、暗殺の深層に迫る。

978-4-642-05862-9

奈倉哲三・保谷 徹・箱石 大編

戊辰戦争の新視点 上

世界・政治

A 5判 212頁 2,200円 吉川弘文館 [1月刊]

条約諸国は内戦と権力の変遷をいかに注視し関わったか。国際的状況下の内戦の姿を照射。今までにない視点から新しい戦争像に迫る。

978-4-642-08329-4

奈倉哲三・保谷 徹・箱石 大編

戊辰戦争の新視点 下

軍事・民衆

A 5判 228頁 2,200円 吉川弘文館 [2月刊]

内戦遂行のなかで、幕末に導入した西洋式兵学がついに実地に移された。陸戦の軍備や編制、海軍力、民衆の支援や反発など実態に迫る。

978-4-642-08330-0

見城梯治編著

帰一協会の挑戦と渋沢栄一

グローバル時代の「普遍」をめざして

A 5判 280頁 3,800円 ミネルヴァ書房 [2月刊]

世界の宗教者同士の相互理解と協力を推進するという、グローバル時代を先取りした協会の活動について検証する。

978-4-623-08285-8

小幡圭祐著

井上馨と明治国家建設

「大大蔵省」の成立と展開

A 5判 352頁 10,000円 吉川弘文館 [1月刊]

廃藩置県後、井上馨は大蔵省に民部省を併合。彼の思想や「大大蔵省」の制度・政策の考察から、草創期近代国家の建設過程を解明する

978-4-642-03871-3

大江志乃夫著

日本の参謀本部

(読みなおす日本史)

四六判 240頁 2,200円 吉川弘文館 [2月刊]

陸軍と中枢の参謀本部は政略・戦略を欠いた。また独断で戦争に突き進み責任所在が曖昧で引き返せなかった。軍部の構造の欠陥に迫る。

978-4-642-06759-1

森屋雅幸著

地域文化財の保存・活用とコミュニティ

山梨県の擬洋風建築を中心に
A 5判 330頁 7,200円

岩田書院 [2月刊]

「地域主義にもとづく文化財保存と活用」の実践例を、藤村式と呼ばれる明治期の山梨県の擬洋風学校建築に見る。

978-4-86602-020-4

中田英樹・高村竜平編

復興に抗する

地域開発の経験と東日本大震災後の日本
四六判 320頁 2,600円

有志舎 [1月刊]

「復興」の名のもとに、戦後日本で繰り返される開発主義と、それでもその場所で生き続けようとする人々の生活史を描き出す。

978-4-908672-18-7

真宗史料刊行会編

大系真宗史料 儀式・故実

文書記録編 13
A 5判 543頁 13,000円

法藏館 [1月刊]

中近世の浄土真宗教団における儀式・故実に関わる文献史料20点を収録。真宗僧侶が歴史上どのような儀式を行ってきたかがつぶさに分かる！

978-4-8318-5072-0

井上寛司編

出雲鰐淵寺旧蔵・関係文書

A 5判 432頁 14,000円

法藏館 [1月刊]

棟札・金石文等を含む中世の出雲鰐淵寺旧蔵文書と、全国的な視野に立って収集した関連文書を編年順に収録。花押一覧・史料目録等付録も充実。

978-4-8318-5042-3

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

戸崎哲彦著

柳宗元

アジアのルソー（世界史リブレット人 17）
A 5変型 108頁 800円

山川出版社 [1月刊]

安史の乱で混乱した政治の改革を目指した唐代文学者の柳宗元。追放された後も「政治は民のためにある」という観点を貫徹したその人生を追う。

978-4-634-35017-5

ムン・ユミ著／赤坂俊一監訳

日本の朝鮮植民地化と親日「ポピュリズム」

一進会による対日協力の歴史
四六判 520頁 6,500円

明石書店 [1月刊]

20世紀初頭、朝鮮植民地化に至る過程で活動した民間組織・一進会を親日「ポピュリスト」として詳細に分析した画期的な論考。

978-4-7503-4617-5

マヌエル・モンテロ著／萩尾生訳

バスク地方の歴史

（世界歴史叢書）
四六判 312頁 4,200円

明石書店 [2月刊]

独自の言語と文化を有する欧州の異郷バスク地方の歴史を、スペイン領を中心に平易な記述と豊富な図版で古代から現代までたどる。

978-4-7503-4612-0

国本伊代編著

パナマを知るための70章【第2版】

（エリア・スタディーズ）
四六判 352頁 2,000円

明石書店 [1月刊]

中米地峡に位置する人口400万人ほどの小国パナマ。近年、存在感を増しつつあるパナマを様々な視点から描く魅力的な案内書。

978-4-7503-4619-9

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

小峰智行著

梵字字典

A 5判 304頁 3,200円

東京堂出版 [1月刊]

読み・種子・由来・異体字・筆順、歴史から書き方まで丁寧に解説。梵字字典の新たなスタンダードの誕生。

978-4-490-10899-6

松崎憲三・山田直巳編

霊山信仰の地域的展開

死者供養の山と都市近郊の霊山

A 5判 334頁 7,000円

岩田書院 [2月刊]

978-4-86602-023-5

角山 榮著

「通商国家」日本の情報戦略

領事報告をよむ（読みなおす日本史）

四六判 240頁 2,200円

吉川弘文館 [1月刊]

978-4-642-06758-4

生駒哲郎著

畜生・餓鬼・地獄の中世仏教史

因果応報と悪道（歴史文化ライブラリー 460）

四六判 240頁 1,700円

吉川弘文館 [1月刊]

978-4-642-05860-5

櫻井義秀編

しあわせの宗教学

ウェルビーイング研究の視座から

四六判 346頁 2,500円

法蔵館 [1月刊]

978-4-8318-5703-3

中村満紀男編著

日本障害児教育史【戦前編】

A 5判 1424頁 17,000円

明石書店 [2月刊]

978-4-7503-4615-1

和田幸司著

「土農工商」はどう教えられてきたか

小中学校における近世身分学習の展開

A 5判 340頁 5,000円

ミネルヴァ書房 [2月刊]

978-4-623-08086-1

廣岡義隆編

蓬左文庫本 出雲國風土記 影印・翻刻

A 5判 348頁 13,000円

塙書房 [2月刊]

978-4-8273-0129-8

増記隆介・皿井 舞・佐々木守俊著

古代国家と仏教美術

奈良・平安時代（天皇の美術史 1）

A 5判 224頁 3,500円

吉川弘文館 [2月刊]

978-4-642-01731-2

三保忠夫著

鷹狩と王朝文学

A 5判 592頁 12,000円

吉川弘文館 [2月刊]

978-4-642-08527-4

福島雅子著

徳川家康の服飾

A 5判 348頁 6,500円

中央公論美術出版 [2月刊]

978-4-8055-0793-3

伊藤之雄著

「大京都」の誕生

都市改造と公共性の時代 1895～1931年

A 5判 548頁 7,500円

ミネルヴァ書房 [2月刊]

978-4-623-08117-2

成城大学民俗学研究所プロジェクト「霊山と民俗信仰」の成果。編者ほか8論文収録。

開国後、市場開拓のため各国駐在領事は情報を積極的に収集し政府へ報告した。貿易拡大に成功した先人の努力と戦略を描く。

仏教の世界観である六道は三善道と三悪道とに別れ、殺生にも善悪の違いがあった。因果応報の歴史から中世人の思考を紐解く。

宗教学の立場から「幸せ」の問題にアプローチ。宗教が人を幸せにするとはどういうことなのかを問う、刺激的な論集。

日本の近代以降の障害児教育の歩みを、世界的な展望と国内の社会的・教育的背景に位置づけ、今後の研究と実践の進むべき方向を示す。

歴史学研究を専門とする著者が理論と実践の往還を行い、小・中学校教員の探究的な実践的指導力の育成を目指す。

蓬左文庫本『出雲國風土記』は日御碕本の親本で、1634年7月以前の写本である。最新技術による影印、翻刻・校異、詳細な解題を付す。

再生産される古代の造形…。7世紀の仏教美術を「古典」と捉えつつ、鎌倉時代までを視野に天皇と古代仏教美術の関係を探る。【全6巻完結】

六国史などを通じて鷹狩と天皇権力との関係を究明。王朝文学作品における鷹狩関連部分の、代表的な注釈書の諸説を批判的に再検討。

徳川家康が選した100点以上の服飾を検討・考察し、中世末から近世初頭の服飾史上の一大転換期に現れた新たな武家服飾形式を明らかにする。

近代京都が行った二つの都市改造事業について、政治家や市職員、そして市民たちによる計画と展開を解明する。

土屋礼子・井川充雄編著

近代日本メディア人物誌

ジャーナリスト編

A 5判 328頁 2,500円

ミネルヴァ書房 [1月刊]

言論人たちは何と闘い、いかに表現してきたのか。激動の日本近代史を、ジャーナリストの奮闘から描く。

978-4-623-07482-2

橋本素子著

中世の喫茶文化

儀礼の茶から「茶の湯」へ（歴史文化ライブラリー 461）

四六判 224頁 1,700円

吉川弘文館 [1月刊]

平安・鎌倉期に渡来した茶が、寺院や武家から一般に広がる過程を、生産・流通・消費を軸に解明。茶の歴史から日本文化を見直す。

978-4-642-05861-2

古家信平編

現代民俗学のフィールド

A 5判 368頁 10,000円

吉川弘文館 [2月刊]

気鋭の研究者が集い、「先鋭化」「実質化」「国際化」をキーワードに民俗学の現在と課題を論じる。論考20編を収め、新地平を開く。

978-4-642-08201-3

秋野淳一著

神田祭の都市祝祭論

戦後地域社会の変容と都市祭り

A 5判 658頁 13,800円

岩田書院 [2月刊]

社会変動の影響が顕著に現れる大都市の祭り「神田祭」を宗教社会学的に考察し、その複合的構造を明らかにする。

978-4-86602-022-8

伝記

黒田基樹著

北条氏政

乾坤を截破し太虚に帰す

四六判 328頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [2月刊]

四代目当主として最大版図を形成するも、小田原合戦で羽柴秀吉に敗れた北条氏政。小田原評定等の逸話に見られる低評価は実像なのか。

978-4-623-08235-3

小野寺龍太著

岩瀬忠震

五州何を遣しと謂わん

四六判 368頁 4,000円

ミネルヴァ書房 [1月刊]

外交・防衛・通産の高級官僚であって漢詩・和歌・絵画にも堪能だった幕末の無頼の一男児の素顔に迫る。

978-4-623-08259-9

田野勲著

演技する道化 サダキチ・ハートマン伝

東と西の精神誌

A 5判 416頁 7,000円

ミネルヴァ書房 [1月刊]

幕末出島で生まれ、躍動する才能で、ジャポニズムの橋を渡した「ボヘミアンの王」の生涯を追う。

978-4-623-08105-9

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

2月号（第837）＝1月刊
3月号（第838）＝2月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300円〔税・送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000円〔税・送料込〕

三年間前払い 23,500円〔税・送料込〕

学生・院生 一年間 5,000円〔税・送料込〕

A 5判 各130頁
各741頁

吉川弘文館 [1・2月刊]

※表示価格はすべて本体価格です。

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
思文閣出版 (体会)	https://www.shibunkaku.co.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://www.douseisha.co.jp/
塙書房	http://rr2.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	https://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史書以外の
人文社会図書新刊案内

2018.1・2

明石書店

- 在日コリアンの人権白書 在日本大韓国民団中央本部人権擁護委員会 企画……………A5判 1,500円 1月
BREXIT「民衆の反逆」から見る英国のEU離脱 緊縮政策・移民問題・欧州危機
尾上修悟著……………四六判 2,800円 1月

東京堂出版

- 核戦争の瀬戸際で ウィリアム・J・ベリー 著／松谷基和 訳……………四六判 2,500円 1月

歴史書懇話会とは

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在11社が加盟しています。結成以来48年、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「歴史リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。

一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、毎回100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは <http://www.hozokan.co.jp/rekikon/> からお願いします。

歴史書懇話会 会員社

明石書店・校倉書房・思文閣出版(株)・東京堂出版・刀水書房
同成社・塙書房・法蔵館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

歴史書年間発行一覽

【2017年1月～12月】

▶会員社は50音順に配列した。▶書名は発行月順に配列した ▶*は重版
▶原則として書名・著者名・判型・価格・発行月の順に掲載した

明石書店

倭人とはなにか 出野正・張莉 著	A 5判	2,600円	1月
キューバ現代史 後藤政子 著	四六判	2,800円	1月
フィリピンを知るための64章 エリア・スタディーズ 大野拓司・鈴木伸隆・日下渉 編著	四六判	2,000円	1月
ガンディー ー現代インド社会との対話ー 世界歴史叢書 内藤雅雄 著	四六判	4,300円	2月
韓国映画100年史 鄭琮樺 著／野崎充彦・加藤知恵 訳	四六判	2,800円	3月
失われた倭国年号《大和朝廷以前》 ー古代に真実を求めてー 古田史学論集第二十集古田史学の会 編	A 5判	2,200円	3月
平安朝の女性と政治文化 服藤早苗 編著	四六判	2,500円	3月
鎌倉古寺霊園物語 立元幸治 著	四六判	2,600円	3月
幕末・明治の横浜 ー西洋文化事始めー 斎藤多喜夫 著	A 5判	2,800円	3月
共同研究 安重根と東洋平和 李洙任、重本直利 編著	A 5判	5,000円	3月
黒海の歴史 世界歴史叢書 チャールズ・キング 著	四六判	4,800円	4月
20世紀ロシアの挑戦 ー盲ろう児教育の歴史ー 明石ライブラリー163 タチヤーナ・アレクサンドロヴナ・バシロワ 著	四六判	3,800円	5月
カリフォルニアのワイン王 薩摩藩士・長沢鼎 上坂昇 著	四六判	2,600円	5月
カリブ海世界を知るための70章 エリア・スタディーズ 国本伊代 編著	四六判	2,000円	6月
米墨戦争前夜のアラモ砦事件とテキサス分離独立 世界歴史叢書 牛島万 著	四六判	3,800円	7月
カナダの歴史を知るための50章 エリア・スタディーズ 細川道久 編著	四六判	2,000円	8月
テュルクの歴史 世界歴史叢書 カーター・ヴォーン・フィンドリヤー 著	四六判	5,500円	8月
スロヴェニアを知るための60章 エリア・スタディーズ 柴宜弘・山崎 信一 編著	四六判	2,000円	9月
ベラルーシを知るための50章 エリア・スタディーズ 服部倫卓・越野剛 編著	四六判	2,000円	9月
評伝 尹致昊 木下隆男 著	A 5判	6,600円	9月
日韓をつなぐ「白い華」綿と塩 ー明治期外交官・若松莞三郎の生涯ー 永野慎一郎 著	四六判	3,000円	10月
バングラデシュを知るための66章【第3版】 エリア・スタディーズ			
大橋正明・村山真弓・日下部尚徳・安達淳哉 編著	四六判	2,000円	10月
ユネスコ世界記憶遺産と朝鮮通信使 仲尾宏・町田一仁 編著	A 5判	1,600円	12月
イタリアの歴史を知るための50章 エリア・スタディーズ 高橋進・村上義和 編著	四六判	2,000円	12月
北京を知るための52章 エリア・スタディーズ 櫻井澄夫・人見豊・森田憲司 編著	四六判	2,000円	12月

校倉書房

非常非命の歴史学 菊池勇夫著	A 5判	8,000円	1月
近世潜伏宗教論 歴史科学叢書 大橋幸泰著	A 5判	9,000円	2月
城郭と由緒の戦争論 歴史科学叢書 藤田達生著	A 5判	10,000円	4月
中世荘園制社会の地域構造 歴史科学叢書 志賀節子著	A 5判	10,000円	7月
近世村方文書の管理と筆耕 歴史科学叢書 富善一敏著	A 5判	8,000円	10月
修験道本山派成立史の研究 歴史科学叢書 近藤祐介著	A 5判	8,000円	11月
武家奉公人と都市社会 歴史科学叢書 松本良太著	A 5判	10,000円	12月

東京堂出版

日本奇術文化史 河合勝・長野栄俊著・公益社団法人日本奇術協会編	B 5判	12,000円	2月
禅問答 100 撰 山田史生著	四六判	2,000円	2月
日本全国 合成地名の事典 浅井建爾著	四六判	2,000円	3月
南北朝遺文 関東編 第7巻 佐藤和彦・山田邦明ほか編	A 5判	16,000円	3月
ケルト文化事典 木村正俊・松村賢一編	A 5判	5,000円	5月
戦国遺文 大内氏編 第2巻 和田秀作編	A 5判	17,000円	7月
平家物語作中人物事典 西沢正史編	A 5判	4,500円	7月
大友館と府内の研究 「大友家年中作法日記」を読む 大友館研究会編	A 5判	10,000円	8月
死と生 恐山至高対談 鎌田東二・南直哉著	四六判	1,900円	9月
齋藤孝の 一気読み! 日本近現代史 齋藤孝著	四六判	1,600円	9月
図説 日本服飾史事典 増田美子編・梅谷知世ほか著	B 5判	24,000円	9月
戦国遺文 下野編 第1巻 荒川善夫・新井敦史・佐々木倫朗編	A 5判	17,000円	9月
豊臣期武家口宣案集 木下聡編	A 5判	18,000円	10月
梵字入門 願いをかなえるお守り文字 小峰彌彦監修・中野展子著	A 5判	1,500円	12月

刀水書房

移動がつくる東中欧・バルカン史 山本明代／パプ・ノルベルト共編	A 5判	6,400円	2月
ウィーンとヴェルサイユ ヨーロッパにおけるライバル宮廷 1550～1780 人間科学叢書 46			
J. ダイナム著／大津留厚・小山啓子・石井大輔訳	A 5判	4,500円	3月
現人神から大衆天皇制へ 昭和の国体とキリスト教 吉馴明子・伊藤彌彦・石井摩耶子共編	A 5判	4,600円	4月
マルセイユの都市空間 幻想と実存のあいだで 世界史の鏡 都市6 深沢克己	四六判	2,000円	6月
これが歴史だ! 21世紀の歴史学宣言 刀水歴史全書 92 グルディ&アーミテイジ著／平田雅博・細川道久訳	四六判	2,500円	9月
ローマ教皇庁の歴史 古代からルネサンスまで 人間科学叢書 47			
B. シンメルベニツヒ著／甚野尚志・成川岳大・小林亜沙美訳	A 5判	6,000円	11月
イタリアの黒死病関係史料集 石坂尚武編訳	A 5判	14,000円	12月

同 成 社

百舌鳥・古市古墳群	一瀬和夫著	四六判	1,200円	1月
律令財政と荷札木簡	古代史選書 23 俣野好治著	A 5判	6,000円	1月
火と縄文人	ものが語る歴史 34 高田和徳編	A 5判	3,300円	2月
古代寺院の土地領有と荘園図	三河雅弘著	A 5判	5,000円	2月
古代寺院造営の考古学	中島 正著	B 5判	7,500円	2月
東アジアと百済土器	土田純子著	B 5判	13,000円	2月
東北アジアの初期農耕と弥生の起源	宮本一夫著	B 5判	10,000円	2月
地域社会の文化と史料	東四柳史明編	A 5判	9,800円	2月
「物質性」の人類学	古谷嘉章・関雄二・佐々木重洋編	A 5判	5,000円	3月
縄文時代の社会複雑化と儀礼祭祀	谷口康浩著	A 5判	6,500円	3月
博物館と地方再生	金山喜昭著	A 5判	2,400円	3月
弥生時代人物造形品の研究	設楽博己・石川岳彦著	B 5判	9,800円	3月
古代信濃の地域社会構造	古代史選書 24 傳田伊史著	A 5判	7,500円	5月
ジェンダーの中世社会史	中世史選書 22 野村育世著	A 5判	4,800円	5月
天文の考古学	ものが語る歴史 35 後藤 明著	A 5判	4,200円	5月
古墳の方位と太陽	ものが語る歴史 36 北條芳隆著	A 5判	4,800円	5月
理論考古学の実践	安齋正人編	A 5判	9,500円	6月
古代国家成立と国際的契機	古代史選書 25 中野高行著	A 5判	5,000円	7月
古代都城の形態と支配構造	古代史選書 26 古内絵里子著	A 5判	7,000円	7月
律令国家の隼人支配	古代史選書 27 菊池達也著	A 5判	6,000円	9月
物部氏の伝承と史実	前田晴人著	四六判	2,300円	9月
古墳時代社会の比較考古学	富山直人著	B 5判	9,000円	9月
特別史跡 高松塚古墳発掘調査報告	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策事業報告書 1 文化庁・奈良文化財研究所・奈良県立橿原考古学研究所・明日香村教育委員会編	A 4判	15,000円	9月
津波災害痕跡の考古学的研究	斎野裕彦著	B 5判	9,000円	9月
倭国末期政治史論	中田興吉著	A 5判	9,500円	10月
前方後円墳秩序の成立と展開	澤田秀実著	B 5判	8,000円	10月
古代国家と北方世界	古代史選書 28 小口雅史編	A 5判	6,000円	10月
縄紋時代の実年代	小林謙一著	A 5判	4,800円	11月
中近世移行期の公儀と武家権力	中世史選書 23 久保健一郎著	A 5判	7,000円	12月
正倉院写経所文書を読みとく	市川理恵著	A 5判	4,700円	12月

塙 書 房

日本古代都鄙間交通の研究	市 大樹著	A 5判	13,000円	2月
大内氏の領国支配と宗教	平瀬直樹著	A 5判	8,500円	2月
日本語書記用文体の成立基盤	一表記体から文体へ 乾 善彦著	A 5判	12,000円	3月
古代における表現の方法	日本女子大学叢書 19 岩田芳子著	A 5判	6,000円	3月

弥生文化形成論 設楽博己著	B 5判	18,000円	3月
日本古代女帝論 義江明子著	A 5判	11,000円	3月
日本古代君主制成立史の研究 北 康宏著	A 5判	12,000円	3月
中世和歌史の研究 一撰歌と歌人社会一 小川剛生著	A 5判	14,000円	5月
儀式でうたう やまと歌 一木簡に書き 琴を奏でる一 はなわ新書 84 犬飼 隆著	新書判	1,200円	7月
萬葉集研究 第37集 芳賀紀雄監修／鉄野昌弘・奥村和美編	A 5判	13,000円	11月
日本書紀研究 第32冊 日本書紀研究会編	A 5判	9,000円	11月
平安時代の地方軍制と天慶の乱 寺内 浩著	A 5判	9,000円	11月
家持歌日記の研究 松田 聡著	A 5判	15,000円	11月
近代日本・朝鮮とスポーツ 一支記と抵抗、そして協力へー 塙選書 122 金 誠著	B 6判	2,400円	12月

法 藏 館

チベットひとり旅 山本幸子著	A 5判	1,800円	1月
パティの美文詩研究 川村悠人著	A 5判	14,000円	1月
文書記録編9 天文日記II 真宗史料刊行会編	A 5判	9,500円	1月
仏教史研究ハンドブック 佛教史学会編	A 5判	2,800円	2月
新訳 往生要集 上 源信著、梯信暁訳註	A 5判	3,200円	2月
新訳 往生要集 下 源信著、梯信暁訳註	A 5判	3,200円	2月
中世叡尊教団の全国的展開 松尾剛次著	A 5判	12,000円	2月
華嚴教学成立論 織田顕祐著	A 5判	12,000円	2月
南山進流 声明大系 全二巻 潮 弘憲著	A 5判	28,000円	2月
唐代仏教美術史論攷 大西磨希子著	A 5判	12,000円	2月
密教美術の画像学 森 雅秀著	A 5判	20,000円	2月
中世後期 泉涌寺の研究 大谷由香著	A 5判	6,000円	2月
広島戦災児育成所と山下義信 一山下家文書を読む一 新田光子編著	A 5判	2,800円	3月
ことばの向こうがわ 安部智海著	四六判	1,100円	3月
戦時日本の大学と宗教 江島尚俊、三浦周、松野智章編	A 5判	3,500円	3月
歴史のなかの東大寺 榮原永遠男、佐藤 信、吉川真司編	A 5判	17,000円	3月
「天橋立学」への招待 天橋立世界遺産登録可能性検討委員会編	A 5判	1,500円	4月
中世寺社と国家・地域・史料 稲葉伸道編	A 5判	12,000円	5月
三教指帰と空海 河内昭圓著	四六判	2,300円	5月
意識 無量寿経 戸次公正訳	A 5判	2,200円	6月
鏡鑑としての中国の歴史 礪波 護著	四六判	2,500円	6月
鎌倉仏教と専修念仏 平 雅行著	A 5判	9,000円	6月
京都地蔵盆の歴史 村上紀夫著	四六判	2,000円	7月
中世仏教文学の思想 沼波政保著	A 5判	12,000円	7月
仏教における実践を問う(二) 一社会的実践の歴史と展望一 日本佛教学会編	A 5判	7,000円	8月
近代西本願寺を支えた在家信者 中西直樹著	四六判	1,900円	9月
続ヴェネツィアの石 John Ruskin (ジョン ラスキン) 著 内藤史朗訳	四六判	3,200円	10月

一遍仏教と時宗教団 長澤昌幸著	A 5判	5,000円	11月
〔名著復刊〕朝鮮日々記を読む 一真宗僧が見た秀吉の朝鮮侵略― 朝鮮日々記研究会編	A 5判	7,500円	11月
古代東大寺の世界 一「東大寺要録」を読み直す― GBS実行委員会編	A 4判	2,000円	11月
日宋交流期の東大寺 一高然上人一千年大遷忌にちなんで― GBS実行委員会編	A 4判	2,000円	11月
詩經國風 橋本 循著	A 5判	5,000円	12月
文書記録編13 儀式・故実 真宗史料刊行会編	A 5判	13,000円	12月
人間とは何か I 日本佛教学会編	A 5判	6,600円	12月
密教図像 第36号 密教図像学会編	B 5判	2,800円	12月
「世界」へのまなざし 三谷真澄編	四六判	1,300円	12月

ミネルヴァ書房

春日局 ミネルヴァ日本評伝選 福田千鶴著	四六判	3,000円	1月
「軍事研究」の戦後史 杉山滋郎著	四六判	3,000円	1月
昭和思想史としての小泉信三 楠 茂樹・楠 美佐子著	四六判	4,000円	1月
日本国民をつくった教育 沖田行司著	四六判	2,500円	1月
藤原伊周・隆家 ミネルヴァ日本評伝選 倉本一宏著	四六判	3,000円	2月
藤原良房・基経 ミネルヴァ日本評伝選 浪浪貞子著	四六判	3,800円	2月
渋沢栄一は漢学とどう関わったか 渋沢栄一と「フィランソロビー」 見城悌治・飯森明子・井上 潤 責任編集 町 泉寿郎編著	A 5判	3,800円	2月
大内義弘 ミネルヴァ日本評伝選 平瀬直樹著	四六判	3,000円	3月
明治の〈青年〉 和崎光太郎著	四六判	3,000円	3月
松田正久と政党政治の発展 西山由理花著	A 5判	6,500円	3月
近現代日本における政党支持基盤の形成と変容 MINERVA 人文・社会科学叢書 手塚雄太著	A 5判	7,000円	3月
日系文化を編み直す 細川周平編著	A 5判	8,000円	3月
天野貞祐 ミネルヴァ日本評伝選 貝塚茂樹著	四六判	4,000円	4月
日記で読む近現代日本政治史 史料で読み解く日本史 黒沢文貴・季武嘉也編著	A 5判	3,800円	4月
中世日記の世界 史料で読み解く日本史 松崗 斉・近藤好和編著	A 5判	4,000円	4月
福澤諭吉の『世界国尽』で世界を学ぶ 齋藤秀彦編著	B 5判	2,600円	4月
足利義持 ミネルヴァ日本評伝選 吉田賢司著	四六判	3,200円	5月
教養のイタリア近現代史 土肥秀行・山手昌樹編著	A 5判	3,000円	5月
世界スタジアム物語 後藤健生著	四六判	2,500円	5月
〈帝国〉で読み解く中世ヨーロッパ MINERVA 西洋史ライブラリー 朝治啓三・渡辺節夫・加藤 玄編著	A 5判	6,500円	5月
唐木順三 ミネルヴァ日本評伝選 澤村修治著	四六判	4,000円	6月
小林一三は宝塚少女歌劇にどのような夢を託したのか 伊井春樹著	四六判	2,800円	7月
石橋湛山 ミネルヴァ日本評伝選 増田 弘著	四六判	3,500円	7月
冷戦変容期の国際開発援助とアジア 渡辺昭一編著	A 5判	7,000円	7月
西郷隆盛 ミネルヴァ日本評伝選 家近良樹著	四六判	4,000円	8月
出口なお・王仁三郎 ミネルヴァ日本評伝選 川村邦光著	四六判	3,800円	9月

ロシア近現代と国際関係 小田 健著	A 5判	4,000円	9月
小さな大世界史 ジェフリー・ブレイン著 南塚信吾監訳	四六判	2,800円	9月
〈日中戦争〉とは何だったのか 黄自進・劉建輝・戸部良一編著	A 5判	6,500円	9月
和氣清麻呂にみる誠忠のこころ 若井勲夫著	A 5判	8,000円	10月
記憶と忘却のドイツ宗教改革 MINERVA 西洋史ライブラリー 踊 共二編著	A 5判	6,500円	10月
大佛次郎 ミネルヴァ日本評伝選 福島行一著	四六判	3,200円	11月
「福沢諭吉」とは誰か MINERVA 歴史・文化ライブラリー 平山 洋著	四六判	3,500円	11月
ミュンヘン会談への道 MINERVA 西洋史ライブラリー 関 静雄著	A 5判	8,500円	11月
保田與重郎 ミネルヴァ日本評伝選 谷崎昭男著	四六判	4,000円	12月
小野妹子・毛人・毛野 ミネルヴァ日本評伝選 大橋信弥著	四六判	3,500円	12月
伝奏と呼ばれた人々 日本史史料研究会監修神田裕理編著	四六判	2,800円	12月
せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題 MINERVA 人文・社会科学叢書 橋本伸也編著	A 5判	5,000円	12月

山川出版社

ネブカドネザル2世ーバビロンの再建者ー 世界史リブレット人3 山田重郎著	A 5判変型	800円	1月
詳説日本史図録 第7版 詳説日本史図録編集委員会編	A B判	860円	2月
詳説世界史図録 第2版 木村靖二・岸本美緒・小松久男監修	A B判	860円	2月
レンズが撮らえたオックスフォード大学所蔵 幕末明治の日本 レンズが撮らえた フィリップ・グローヴァー著 三井圭司編	菊5判	1,600円	2月
ジャポニスムと近代の日本 東田雅博著	A 5判	1,500円	2月
土偶のリアルー発見・発掘から蒐集・国宝誕生まで 譽田亜紀子著 スソアキコ絵 武藤康弘監修	四六判	1,500円	2月
知られざる日本写真開拓史 東京都写真美術館編	菊5判	2,000円	3月
神宮伝奏の研究 渡辺 修著	A 5判	6,500円	3月
世界史／いま、ここから 小田中直樹・帆刈浩之編	A 5判	2,300円	4月
徳富蘇峰と大日本言論報国会 日本史リブレット98 赤澤史朗著	A 5判変型	800円	4月
これからの「歴史教育法」 野崎雅秀著	A 5判	1,800円	5月
儒教の歴史 宗教の世界史5 小島 毅著	四六判	3,500円	5月
レーニンー二十世紀共産主義運動の父ー 世界史リブレット人73 和田春樹著	A 5判変型	800円	6月
オスマン帝国治下のアラブ社会 世界史リブレット112 長谷部史彦著	A 5判変型	729円	6月
禅と生きるー生活につながる思想と知恵20のレッスンー 宇野全智著	四六判	1,600円	6月
和菓子を愛した人たち 虎屋文庫編著	四六判	1,800円	6月
東南アジア 歴史と文化46 東南アジア 歴史と文化 東南アジア学会編	A 5判	4,200円	6月
歴史的思考力を育てるー歴史学習のアクティブ・ラーニングー 永松靖典編	A 5判	2,000円	6月
土偶界へようこそー細文の美の宇宙ー 譽田亜紀子著	四六判	1,600円	6月
消えゆく太平洋戦争の戦跡 「消えゆく太平洋戦争の戦跡」 編集委員会編	菊5判	1,800円	7月
新 もういちど読む山川 日本史 五味文彦・鳥海靖編	A 5判	1,600円	7月
新 もういちど読む山川 世界史 「世界の歴史」編集委員会編	A 5判	1,600円	7月
北条早雲ー新しい時代の扉を押し開けた人ー 日本史リブレット人42 池上裕子著	A 5判変型	800円	7月

近世商人と市場	日本史リブレット88	原直史著	……………	A 5判変型	800円	7月
もういちど読む山川	日本史史料	下山忍・會田康範編	……………	A 5判	1,500円	8月
世界の国旗・国章歴史大図鑑	菊安 望著	……………	……………	A B判	12,000円	8月
古代東国の地方官衙と寺院	佐藤 信編	……………	……………	B 5判	4,500円	8月
詳説日本史研究	佐藤 信・五味文彦・高埜利彦・島海 靖編	……………	……………	A 5判	2,500円	8月
ベトナム戦争に抗した人々	世界史リブレット125	油井大三郎著	……………	A 5判変型	729円	8月
「宗教都市」奈良を考える	中世都市研究会編	……………	……………	A 5判	4,000円	8月
宗教の誕生	宗教の世界史1	月本昭男編	……………	四六判	3,500円	8月
文学で読む日本の歴史	戦国社会篇	五味文彦著	……………	四六判	2,000円	9月
2018年版	歴史手帳	……………	……………	……………	750円	10月
朝鮮史1	先史—朝鮮王朝—	世界歴史大系 李成市・宮嶋博史・糟谷憲一編	……………	A 5判	7,500円	10月
朝鮮史2	近現代	世界歴史大系 李成市・宮嶋博史・糟谷憲一編	……………	A 5判	6,500円	10月
ワットとスティーヴンソン	—産業革命の技術者—	世界史リブレット人59	大野 誠著	……………	A 5判変型	800円
ナショナル・アイデンティティを問い直す	川田順造編	……………	……………	A 5判	4,500円	10月
グローバル・ヒストリーの可能性	羽田 正編	……………	……………	A 5判	3,000円	10月
公職選挙にみるローマ帝政の成立	山川歴史モノグラフ34	丸亀裕司著	……………	A 5判	5,000円	11月
ノーベル賞117年の記録	ノーベル賞の記録編集委員会編	……………	……………	B 5判	1,600円	12月
詳説世界史研究	木村靖二・岸本美緒・小松久男編	……………	……………	A 5判	2,500円	12月
都市史研究4	都市史研究	都市史学会編	……………	B 5判	3,800円	12月
品川弥二郎関係文書8	尚友倶楽部品川弥二郎関係文書編纂委員会篇	……………	……………	A 5判	7,000円	12月
レンズが撮らえた	幕末維新の日本	レンズが撮らえた	高橋則英監修	……………	菊 5判	1,600円
歴代オリンピックでたどる世界の歴史	「歴代オリンピックでたどる世界の歴史」編集委員会編	……………	……………	B 5判	1,500円	12月
スターリン	—超大国ソ連の独裁者—	世界史リブレット人89	中嶋 毅著	……………	A 5判変型	800円

吉川弘文館

明治期のイタリア留学	—文化受容と語学習得—	石井元章著	……………	四六判	3,200円	1月
イルカと日本人	—追い込み漁の歴史と民俗—	中村羊一郎著	……………	四六判	2,400円	1月
天皇の音楽史	—古代・中世の帝王学—	歴史文化ライブラリー442	豊永聡美著	……………	四六判	1,700円
軍用機の誕生	—日本軍の航空戦略と技術開発—	歴史文化ライブラリー443	水沢 光著	……………	四六判	1,700円
朝倉氏と戦国村一乗谷	読みなおす日本史	松原信之著	……………	四六判	2,200円	1月
植民地期朝鮮の地域変容	—日本の大陸進出と咸鏡北道—	加藤圭木著	……………	A 5判	9,500円	1月
治天のまなざし、王朝美の再構築	—鎌倉・南北朝時代—	天皇の美術史2	伊藤大輔・加須屋 誠著	……………	A 5判	3,500円
事典 観桜会・観菊会全史	—戦前の〈園遊会〉—	川上寿代著	……………	A 5判	6,000円	1月
豊臣秀吉文書集 三	—天正十四年～天正十六年—	名古屋市博物館編	……………	菊判	8,000円	1月
坂東の成立	—飛鳥・奈良時代—	古代の東国 2	川尻秋生著	……………	四六判	2,800円
日朝関係史	関 周一編	……………	……………	四六判	3,500円	2月
戦争とファシズムの時代へ	日本近代の歴史 5	河島 真著	……………	四六判	2,800円	2月

本居宣長 一近世国学の成立― 読みなおす日本史 芳賀 登著 ……………	四六判	2,200 円	2 月
古建築を復元する 一過去と現在の架け橋― 歴史文化ライブラリー 444 海野 聡著 ……………	四六判	1,800 円	2 月
鯨を生きる 一鯨人の個人史・鯨食の同時代史― 歴史文化ライブラリー 445 赤嶺 淳著 ……………	四六判	1,900 円	2 月
悪党召し捕りの中世 一鎌倉幕府の治安維持― 西田友広著 ……………	四六判	2,800 円	2 月
日本陸軍の対ソ謀略 一日独防共協定とユーラシア政策― 田嶋信雄著 ……………	四六判	2,800 円	2 月
蘇我氏と飛鳥 人をおるく 遠山美都男著 ……………	A 5 判	2,000 円	2 月
朝河貫一と日欧中世史研究 海老澤 衷・近藤成一・甚野尚志編 ……………	A 5 判	9,000 円	2 月
日本史年表・地図 (2017 年版) 見玉幸多編 ……………	B 5 横判	1,300 円	2 月
世界史年表・地図 (2017 年版) 亀井高孝・三上次男・林 健太郎・堀米庸三編 ……………	B 5 横判	1,400 円	2 月
縄文時代 一その枠組・文化・社会をどう捉えるか?― 歴博フォーラム 山田康弘・国立歴史民俗博物館編 ……………	四六判	2,700 円	2 月
〈総合資料学〉の挑戦 一異分野融合研究の最前線― 国立歴史民俗博物館編 ……………	A 5 判	3,200 円	2 月
戦国期風俗図の文化史 一吉川・毛利氏と「月次風俗図屏風」― 井戸美里著 ……………	A 5 判	10,000 円	2 月
モノと技術の古代史 金属編 村上恭通編 ……………	A 5 判	6,000 円	2 月
古代飛鳥の都市構造 相原嘉之著 ……………	A 5 判	11,000 円	2 月
日産の創業者 鮎川義介 宇田川 勝著 ……………	四六判	2,800 円	2 月
対馬宗氏の中世史 荒木和憲著 ……………	四六判	3,200 円	2 月
総力戦のなかの日本政治 日本近代の歴史 6 源川真希著 ……………	四六判	2,800 円	3 月
江戸の蔵書家たち 読みなおす日本史 岡村敬二著 ……………	四六判	2,400 円	3 月
皇室制度史料 儀制 立太子二 宮内庁書陵部編纂 財団法人菊葉文化協会・発行 吉川弘文館・発売 ……………	A 5 判	11,500 円	3 月
列島を翔ける平安武士 一九州・京都・東国― 歴史文化ライブラリー 446 野口 実著 ……………	四六判	1,700 円	3 月
江戸鷹場制度の研究 山崎久登著 ……………	A 5 判	8,000 円	3 月
朝廷権威の復興と京都画壇 一江戸時代後期― 天皇の美術史 5 五十嵐公一・武田庸二郎・江口恒明著 ……………	A 5 判	3,500 円	3 月
中近世の生業と里湖の環境史 佐野静代著 ……………	A 5 判	9,500 円	3 月
白山平泉寺 一よみがえる宗教都市― 勝山市編 ……………	A 5 判	1,500 円	4 月
明治をつくった人びと 一宮内庁三の丸尚蔵館所蔵写真― 刑部芳則編 ……………	A 5 判	3,400 円	4 月
現代語訳 小右記 4 一敦成親王誕生― 倉本一宏編 ……………	四六判	2,800 円	4 月
古地図からみた古代日本 一土地制度と景観― 読みなおす日本史 金田章裕著 ……………	四六判	2,200 円	4 月
日本古代の氏族と系譜伝承 鈴木正信著 ……………	A 5 判	12,000 円	4 月
天皇側近たちの奈良時代 歴史文化ライブラリー 447 十川陽一著 ……………	四六判	1,700 円	4 月
デジタル技術でせまる人物埴輪 一九十九里の古墳と出土遺物― 城倉正祥著 ……………	B 5 判	2,700 円	4 月
乱世の王権と美術戦略 一室町・戦国時代― 天皇の美術史 3 高岸 輝・黒田 智著 ……………	A 5 判	3,500 円	4 月
「うつわ」を食らう 一日本人と食事の文化― 読みなおす日本史 神崎宣武著 ……………	四六判	2,200 円	5 月
表象としての皇族 一メディアにみる地域社会の皇室像― 茂木謙之介著 ……………	A 5 判	8,500 円	5 月
〈ものまね〉の歴史 一仏教・笑い・芸能― 歴史文化ライブラリー 448 石井公成著 ……………	四六判	1,800 円	5 月
柿本人麻呂 人物叢書 288 多田一臣著 ……………	四六判	2,100 円	5 月
沖縄の戦争遺跡 一〈記憶〉を未来につなげる― 吉浜 忍著 ……………	A 5 判	2,400 円	6 月
近代皇室イメージの創出 一明治・大正時代― 天皇の美術史 6 塩谷 純・増野恵子・恵美千鶴子著 ……………	A 5 判	3,500 円	6 月

伊達政宗の研究〈新装版〉 小林清治著	……………	A 5判	9,000円	6月
覚醒する〈関東〉 一平安時代― 古代の東国 3 荒井秀規著	……………	四六判	2,800円	6月
角倉素庵 読みなおす日本史 林屋辰三郎著	……………	四六判	2,200円	6月
近世史研究遺文 見玉幸多先生論集刊行委員会編	……………	A 5判	12,000円	6月
浅草寺日記 第37巻 一目：明治元年 至：明治二年― 浅草寺史料編纂所・浅草寺日並記研究会編	……………	A 5判	10,000円	6月
文明に抗した弥生の人びと 歴史文化ライブラリー449 寺前直人著	……………	四六判	1,800円	6月
牛車で行こう！ 一平安貴族と乗り物文化― 京楽真帆子著	……………	A 5判	1,900円	7月
江戸の親子 一父親が子どもを育てた時代― 読みなおす日本史 太田素子著	……………	四六判	2,200円	7月
キリシタン信仰史の研究 五野井隆史著	……………	A 5判	9,000円	7月
ふたつの憲法と日本人 一戦前・戦後の憲法観― 歴史文化ライブラリー450 川口曉弘著	……………	四六判	2,000円	7月
天皇の即位儀礼と神仏 松本郁代著	……………	四六判	2,800円	7月
埋もれた江戸 一東大の地下の大名屋敷― 読みなおす日本史 藤本 強著	……………	四六判	2,500円	8月
相模武士団 関 幸彦編	……………	A 5判	2,500円	8月
帝都防衛 一戦争・災害・テロ― 歴史文化ライブラリー452 土田宏成著	……………	四六判	1,700円	8月
出雲の中世 一地域と国家のはざま― 歴史文化ライブラリー451 佐伯徳哉著	……………	四六判	2,000円	8月
源 頼義 人物叢書289 元木泰雄著	……………	四六判	2,100円	8月
東北の名城を歩く 南東北編 一宮城・福島・山形― 飯村 均・室野秀文編	……………	A 5判	2,500円	8月
荷車と立ちん坊 一近代都市東京の物流と労働― 武田尚子著	……………	四六判	2,400円	8月
古代豪族葛城氏と大古墳 小笠原好彦著	……………	四六判	2,200円	8月
真田松代藩の財政改革 一「日暮硯」と恩田奎一 読みなおす日本史 笠谷和比古著	……………	四六判	2,200円	9月
闘いを記憶する百姓たち 一江戸時代の裁判学習帳― 歴史文化ライブラリー454 八鍬友広著	……………	四六判	1,700円	9月
モノと技術の古代史 陶芸編 小林正史編	……………	A 5判	6,000円	9月
伊達政宗と南奥の戦国時代 垣内和孝著	……………	A 5判	9,000円	9月
中世武家服飾変遷史 山岸裕美子著	……………	A 5判	9,000円	12月
花押・印章図典 瀬野精一郎監修・吉川弘文館編集部編	……………	B 5横判	3,300円	12月
弥生時代国家形成史論 弥生時代政治史研究 寺沢 薫著	……………	B 5判	35,000円	12月
古代国家の地方支配と東北 今泉隆雄著	……………	A 5判	9,000円	12月
日本メディア史年表 土屋礼子編	……………	菊判	6,500円	12月
秘録 維新七十年図鑑（新装版） 東京日日新聞社・大阪毎日新聞社編	……………	菊倍判	10,000円	12月

◆今年も早2月。春が待ち遠しいですね。

私たち歴史書懇話会は月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを開催しております。書店様に少し入れ替わりがありました。現在は次の6書店で開催しています（かっこ内はフェア開始の日付）。◇天童市TENDO八文字屋（2006年7月～）／◇新潟市紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）／◇名古屋市ジュンク堂書店名古屋ロフト店（2015年6月～）。お近くの方、どうぞお寄り頂き私たちのオススメを覗いてみてください。

■冬季オリンピックが平昌で開催されています。アメリカ選手の中では様々な肌の色の方たちが、自由にのびのびと闘っています。もちろん、ローマ字名前の日系の方たちもいます。◆11万人を超える日系アメリカ人達が、あの真珠湾攻撃（1941年12月8日）の直後に、強制的に米国各地の戦時収容所に捕らわれたことを、ご存知の方も多い事でしょう。2月6日のNHK「知恵泉」は今アメリカで特に注目されているフレッド・コレマツ（1919～2005）を特集しました。題して「勇気を出して声をあげよう／日系人F. コレマツの戦い」です。1年前の再放送でした。◆真珠湾直後の1942年2月、フランクリン・ルーズベルトは大統領令9066号で、アメリカ西海岸に住む日系人を根こそぎ10か所の戦時収容所に送りました。日系2世コレマツは当時23歳。自由と平等の国アメリカ人であることに誇りをもって育てられてきた彼にはこの措置は納得できず、生地のカリフォルニアに残っていたために、逮捕されました。その後アメリカ自由人協会の援助でこの措置は人種差別だと、裁判を起こしました。◆真珠湾攻撃直後のアメリカは、収容した日系米人たちに忠誠登録までさせました。9割の日系人たちが忠誠を誓い、さらには収容された上の徴兵にまで応じたのです。コレマツは、忠誠は誓いながらも人種差別を訴え続けて1944年12月18日に最高裁での判決を受けました。最高裁判事の3人は無罪・6人が有罪で、「日本人のスパイ活動は事実であり、戦時下では軍事上必要な事態である」という判決でした。◆1945年の日本敗北の後、故郷へ戻ったコレマツは、この裁判の事は黙って語らない日々を40年も過ごしたのですが、やがて娘のカレンの支えもあって1983年「太平洋戦争中の日系人強制収容は人種差別だ」と国を相手に再び裁判を起こしました。1983年11月10日裁判開始。カリフォルニア地方裁判所では戦争中の最高裁の判決を取り消し、国の上訴が無かったので、コレマツは晴れて無罪を勝ち取りました。さらに1998年にはクリントン大統領から「大統領自由勲章」を受賞しました。◆2001年9月11日の「アメリカ同時多発テロ事件」直後のイスラム教徒への無差別攻撃に対しても、コレマツは反論の声を上げました。コレマツはすべてのアメリカ人、そして世界中の人に呼びかけます。「何かおかしいと感じたら、声を上げることを恐れてはいけません」と。

■私たちも、声を上げることを恐れないように、生きてゆきたいです。（FN）

世界史リブレット人

A5変型判 本体800円

17 柳宗元

— アジアのルソー —

戸崎哲彦 著 改革に失敗し追放されても、「生民は国家・君主に優先する」という政治思想を貫いた柳宗元の人となり、思想のありようを追う。

89 スターリン

— 超大国ソ連の独裁者 —

中嶋 毅 著 独ソ戦に勝利した偉大な指導者か、冷酷非道な独裁者か。その生涯を、ソ連国家の確立と拡大に重ねて描き出す。

61 ロベスピエール

— 世論を支配した革命家 —

松浦義弘 著

日本史リブレット人

A5変型判 本体800円

36 足利尊氏と足利直義

— 動乱のなかの権威確立 —

尊氏・直義両者の個性や政策を取り上げながら、とくに兄弟による共同統治の安定期に焦点をあてて解説する。

山家浩樹 著

15 織田信長

— 近代の胎動 —

藤田達生 著

90 西園寺公望

— 政党政治の元老 —

永井 和 著

日本史リブレット

A5変型判 本体800円

82 戦国時代の天皇

末柄 豊 著

室町幕府が衰退し、支えを失った朝廷は困窮していった。難しい舵取りを迫られた天皇が守ろうとしたものは何か。日記などから考える。

世界歴史大系

李成市・宮嶋博史・糟谷憲一 編

朝鮮史 1 朝鮮史 2

先史▽朝鮮王朝

A5判 644頁 本体7500円

近現代

A5判 480頁 本体6600円

朝鮮半島の現在と未来を知るために編まれた、最も信頼できる詳細な通史。最新の実証研究に基づき、政治史を軸に社会・経済・文化をバランスよく叙述する。豊富な付録も便利。

ノーベル賞

117年の記録

ノーベル賞の記録編集委員会編
ノーベルの理念、選考機関、選考方法、各賞の紹介、年ごとに受賞者と受賞内容に記載し、受賞時の時代背景が「この年の出来事」でわかる。
B5判 1680頁 本体1600円

幕末維新の日本

高橋則英 監修
菊5判 208頁 本体1600円

歴代オリンピックピックでたどる世界の歴史

「歴代オリンピックピックでたどる世界の歴史」編集委員会編
オリンピックの歴史をたどると、世界の歴史が見えてくる。各大会の概要とその時の国際情勢を、多数の図版、写真とともに解説する。
B5判 136頁 本体1500円

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

[価格は税別]

ミュージアム
博物館が
本になった!

わくわく! 探検

日本の歴史

全5巻

国立歴史民俗博物館編 日本の歴史と文化
を楽しく、やさしく解説した小中学生向け
のシリーズ。ジオラマなど図版も満載。
各1000円
(内容案内送呈)

- ◆既刊
- ③近世
- ◆続刊
- ①原始・古代
- ②中世
- ④近代・現代

将軍・執権・連署

鎌倉幕府権力を考える

日本史料研究会編
源頼朝が創始した鎌倉幕府のしくみは、どう理解すべきか。将軍が唯一の首長であるにもかかわらず、執権・連署を掌る北条氏が権力を握っていく。様々な切り口を示し、鎌倉将軍権力の実像を明らかにする道標となる書。

龍馬暗殺

(歴史文化ライブラリー462)

桐野作人著
龍馬はなぜ殺されたのか。襲撃者の供述を再検討し、薩長土や会桑勢力の動向から、京都政局の対立軸を明らかにし、事件の真因を究明。事件後の政情や、衰えない「薩摩」説の起源と誤謬も解き明かし、暗殺の深層に迫る。

日本の参謀本部

(読みなおす日本史)

大江志乃夫著
日本陸軍とその中枢であった参謀本部はドイツを手本に作られたが、戦略・戦術を欠いていた。また政府の指図を嫌い、独断専行で戦争に突き進み、責任の所在が曖昧なために引き返せなかった。軍部の構造の欠陥に迫る。

戊辰戦争の新視点

全2冊
奈倉哲三・保谷 徹・箱石 大編
各2200円

下軍事・民衆

内戦遂行のなかで、幕末に導入した西洋式兵学が
ついに実地に移された。陸戦の軍備や編制、海軍力、
戦費調達などの実態に迫る。(既刊)上世界政治



戊辰戦争の新視点

- 歴史研究と〈総合資料学〉 国立歴史民俗博物館編 3200円
- 増記 隆介・血井舞・佐々木守俊著
- 史料・史跡と古代社会 佐藤 信綱 13000円
 - 律令制と古代国家 佐藤 信綱 13000円
 - 古代宮都と関連遺跡の研究 小澤 毅著 9000円
 - 正倉院宝物と東大寺献物帳 米田健介著 10000円
 - 鷹狩と王朝文学 三保忠夫著 12000円
 - 戦国期の村落と領主権力 銭 静怡著 8500円
 - 十七世紀日本の秩序形成 木村西樹・牧原成征編 9000円
 - 近世の撰家と朝幕関係 長坂良宏著 8000円
 - 現代民俗学のフィールド 古家信平編 10000円



吉川弘文館

〒113-0033・東京都文京区本郷7-2-8 2017-2018年版『出版図書目録』送呈
電話03-3813-9151(代表)/FAX 03-3812-3544/表示価格は税別です

歴史書懇話会

▶ 会員社名簿 ◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田 1-1-3 〈担当者：石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門南通大和大路東入元町 355 〈体会〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 〈担当者：鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 〈担当者：中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町 2-4-17 大宮第1ビル 6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620 〈担当者：須藤 圭〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：菊池敏彦〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2018年3月1日発行・第236号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店